

8月30日～9月5日は防災週間

南海地震に備える



写真：新潟県中越大地震災

30年以内の発生確率50%

東海から四国にかけての海域を震源とする東南海、南海地震は、100年から150年の周期で起こっています。

国の地震調査委員会の発表によると、今後30年以内に南海地震が発生する確率は50%程度、50年以内では80～90%の確率で発生し、その規模はM8・4前後と推定されています。

また、東南海、南海地震は同時、あるいは時間的に接近して発生する可能性も指摘されており、その場合、松前町では震度6弱となることが予想されています。

愛媛県が平成14年に発表した市町別の被害想定では、松前町の被害は死者数115名、負傷者数1,176名、建物全壊棟数2,553棟、半壊棟数4,502棟にもなります。

今、南海地震が起きたら皆さんはどう行動しますか？

災害による被害を最小限に抑えられるかどうかは、日ごろからの備えと、地域住民による助け合いの力にかかっています。

家庭や地域で、できることからまず取り組んでみませんか？

松前町の被害予測

●南海地震：発生時刻2時の場合

死者数	負傷者数		避難所人口		建物被害棟数	
	重傷者	中軽傷者	1日後	1週間後	全壊棟数	半壊棟数
115	16	1,160	9,848	11,101	2,553	4,502

(愛媛県地震被害想定調査報告書から抜粋)

今後の南海地震発生確率

予想規模(M)	10年以内	30年以内	50年以内
8.4前後	10%程度	50%程度	80～90%程度

(地震調査委員会 平成20年1月1日現在)